第４学年　体育科学習指導案

令和２年 11 月６日(月)第１校時
活動場所　多目的ホール
男子 12 名　女子 13 名　計 25 名
高知市立十津小学校　教諭　永橋　京

１　単元名　「レッツ　トライ　ダンシング」（リズムダンス）【表現運動】

２　運動の特性

(1)　一般的特性

○自己の心身を解き放して，イメージやリズムの世界に没入してなりきって踊ることが楽しい運動であり，互いのよさを生かし合って友達と交流して踊る楽しさや喜びに触れることができる運動である。

(2)　児童から見た特性

表現運動の楽しさや喜びを感じる要因	表現運動を遠ざける要因
・リズムに乗って踊ること ・ペアやグループと動きを合わせて踊ること ・人と違う動きで踊ること ・自分の踊りを見てもらうこと ・自分の好きな音楽で踊ること	・見られるのが恥ずかしい ・自分の動きが見えない ・リズムに乗るのが苦手 ・即興的に動くのが難しい

３　児童の実態

(1) 知識・技能

第３学年の，表現運動では身近な日常生活を体で表現する運動を行い，楽しさを感じることができている。また，「ソーラン節」をみんなで掛け声を出しながら，決まった踊りをみんなで踊る楽しさを体験できている。また，朝の会でのストレッチや軽い動きを続けてきたことで，体を動かすことに慣れてきている。

(2) 思考，判断，表現

第３学年の表現運動では，身近な日常生活を体で表現する運動を行い，表したいイメージや思いを，自由に動きを工夫しながら踊る学習をしている。その中で，友達のよい動きを，言葉や動きで伝えたりしながら表現することができている。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

＜態度・意識面事前アンケート＞

項目	全体評価	評点
楽しむ	14.44	5
わかる	13.64	5
できる	13.04	5
まもる	14.8	5
合計	55.92	5

運動することが大好きで，苦手と感じることも進んでチャレンジしていこうとする姿が見られるが，男女ペアを組むときにも仲のよい児童を探して組もうとしている姿が見られる。全体的に大人しい児童が多いが，日常生活では決まりを守ろうという規範意識が高い児童が多く，体育の授業でも，ルールを守って，みんなで友達の伸びや頑張りに気付いて声を掛けてあげようとする優しい雰囲気がある。

しかし，体育に関わらず，友達から褒められても自信を持てないといった控えめな児童が多い。

(4)表現運動の学習に関するアンケート

問	体育の学習は好きですか。				23
問	ダンスの学習は好きですか。				21
問	ダンス学習をしていて，楽しいと感じることはどんなことですか。				
する	リズムに乗って踊ること	23	見る	いろいろな動きの行い方を見ること	20
	みんなと動きをそろえて踊ること	22		手本となる友だちの動きを見ること	21
	人と違う動きで自由に踊ること	14		できばえを友だちといっしょに見合うこと	15
	ダンスを見てもらうこと	10	支える	がんばっている友達をおうえんすること	23
	いろいろな曲に合わせて動きを考えること	19		自分が考えたこと（アドバイス）を仲間に伝えること	14
	曲に合わせたダンスができるようになること	21		自分のかかわりによって友達ができるようになること	19
	いろいろなダンスに挑戦すること	20	知る	より良い体の動かし方を知ること	23
	友達と一緒に踊ること	24		いろいろな動きの行い方を知ること	22
	自分のめあてを決めて踊ること	17		めあてを解決するための練習の方法を知ること	22

4　教師の指導観及び研究テーマとの関わり

研究主題	「子どもの心に　火をつける　体育授業」 ～運動の本質的な特性や魅力に触れる楽しさを味わい， 資質・能力をバランスよく育成する指導の工夫～	
研究仮説１	「運動の特性（楽しさ・おもしろさ）にふれる学びをつくることができれば体育の学ぶよろこびを感じ，運動好きな十津っ子に伸びていくであろう。」	
手立て１ 単元デザイン	知識及び技能 ／ 思考力・判断力・表現力等 ／ 学びに向かう力・人間性等	単元を通して，毎時間「やってみる」から「ひろげる」へと繰り返し即興的に踊る活動を中心に構成する。「やってみる」では，リズムの曲調や異なるいろいろな曲で友達と自由に踊って楽しみ，「ひろげる」では 1 曲をリズムの特徴を生かしたのり方や対応の仕方を工夫して楽しむようにする。単元が終盤では教師リードの場面を少なくし，「ひろげる」の活動を増やしていく。毎時の最後には，工夫した踊りを見せ合い，皆で踊る「ダンス交流会」で盛り上がって終わるようにする。1～４時間目はロックとサンバのリズムののり方を学び，５・６時間目には４人（5 人）グループで動きに変化を付けながら続けて踊ることを学ぶ。
手立て２ 環境デザイン	知識及び技能 ／ 思考力・判断力・表現力等 ／ 学びに向かう力・人間性等	ホール内を自由に動くために，「人のいない場所」を見付けて友達についていかないように指示をする。友達同士で関わるために近づくことは良しとする） 曲は，軽快なロックのリズムの曲とビートの強いロックのリズムの曲，陽気で小刻みなビートのサンバのリズムの曲を数曲用意し，それらの曲を繰り返し踊ることで動きを広げていけるようにする。 即興的に踊ることが難しい児童のために，動きのバリエーションを視覚化した「動きの宝箱」を掲示し，動きのつなげ方やグループでのかかわり方のヒントを得られるようにする。 5・6 時間目に使用する 4 曲メドレーは，ロックとサンバの乗りやすい曲を交互に流すようにし，ロックとサンバの違いを捉えやすくさせる。
手立て３ かかわりデザイン	知識及び技能 ／ 思考力・判断力・表現力等 ／ 学びに向かう力・人間性等	単元が進むに連れて，教師リードから児童リードに移行していくようにする。リードする児童と同じ動きをしたり，あえて違う動きをしたりしながら動きを広げていくようにする。１人でやったことをペアで，ペアでやったことをグループでというように関わりを広げていく。 また，単元を通して，ペアやグループを変えながら踊らせる。ペアを変えることで，動きのバリエーションが増えることや，かかわる友達が変わると，ダンスがもっと楽しくなることに気付かせる。クラスの実態から，友達と関わることが楽しいと感じる児童が多いため，グループでの活動を通してリズムダンスの楽しさを味わわせるようにする。
手立て４ フィードバックデザイン	知識及び技能 ／ 思考力・判断力・表現力等 ／ 学びに向かう力・人間性等	授業中のフィードバックと授業の終わりでのフィードバックを欠かさず行い，児童の主体性や動きの高まりにつなげていけるようにする。授業の中では，常に児童の動きを見取り，肯定的な言葉がけをしていく。また，よい動きの児童を即座に取り上げ，みんなで真似したり，あえて違う動きをしたりして動きを高めていく。授業のおわりには，1 時間の中で自分の動きの変容を語れるような振り返りの時間を設ける。自分の動きがよくなったり，ダンスがより楽しく感じられたりした要因に迫り，共有することで学びを深められるようにする。

５　単元の目標

（１）　リズムダンスの楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，軽快なロックやサンバのリズムの特徴を捉え，体幹部（おへそ）を中心に全身を使ってリズムに乗って弾んだり，友達と関わり合ったりして即興的に踊ることができるようにする。（知識及び技能）

（２）　自己の能力に適した課題を見付け，曲によってリズムの乗り方や崩し方を変えたりして，ペアやグループでの交流の仕方を工夫するとともに，自分が考えた動きを友達に伝えることができるようにする。（思考力，判断力，表現力等）

（３）　リズムダンスに進んで取り組み，誰とでも仲良く踊ったり，友達の動きや考えを認めたり，場の安全に気を付けたりすることができるようにする。（学びに向かう力，人間性等）

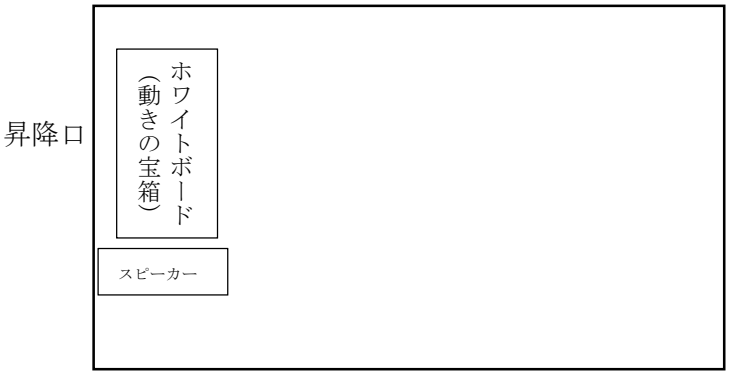
６　学習活動に即した評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①　リズムダンスの楽しさや喜びに触れ，リズムの乗り方や崩し方について理解している。 ②　軽快なロックやサンバなどのリズムの特徴を捉え，体幹部（おへそ）を中心に全身を使ってリズムに乗って弾んで踊ったり，友達と関わり合ったりして即興的に踊ることができる。	①　自分やペア・グループで考えたリズムの乗り方や崩し方を友達に伝えている。 ②　曲によってリズムの乗り方や崩し方を変えたりして，ペアやグループでの交流の仕方を工夫している。	①　軽快なリズムに乗って全身で踊り，リズムダンスに進んで取り組もうとしている。 ②　リズムダンスの行い方の決まりを守り，友達と励ましあって交流をしている。 ③　リズムダンスを行う場の設定や片付けを，友達と一緒に行おうとしている。 ④　友達とぶつからないように周りの安全を確かめて踊ろうとしている。

７　単元の計画

（１）領域の取り上げ方と運動種目
※年間カリキュラムをご参照ください。

場の設定



（２）単元と評価の計画

<table>
<tr><th>時間</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4（本時）</th><th>5</th><th>6</th></tr>
<tr><td>学習課題</td><td colspan="6">【単元を通しての課題】ロックやサンバのリズムの特長に触れて，ダンスの楽しさを知ろう！</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">学習１
ロックのリズムにのって楽しく踊ろう！</td><td colspan="2">学習２
サンバのリズムにのって楽しく踊ろう！</td><td colspan="2">学習３
グループで曲を選んで楽しく踊ろう！</td></tr>
<tr><td rowspan="4">学習内容</td><td colspan="6">WA になって踊ろう！
これまでにやったダンスをみんなで合わせて踊ってみる。</td></tr>
<tr><td colspan="6">WA になって踊ろう！
・リズムに乗る動きと崩す動きを繰り返しながら，ジャンプしたりスキップしたりしながら踊る
・前時のよい動きをつなげながら踊る。
・動きの宝箱に教師とする動きを掲示しておく。
・リーダーを交代しながら踊る。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">○オリエンテーション
・学習の目標と進め方を知る。
・リズムダンスについて知る。
ダンスとは？
−自分の思いを体で表現すること
−揃える楽しさのほかに，みんなと違った動きをする楽しさがあること
－曲が流れている間は，踊り続けること
・きまり，学習の場，安全面について知る。
−一人で踊るときは，なるべく人がいないところへ移動して踊ること

○本時のめあてを確認する
リズムダンスの楽しさを知ろう！

・曲調の違った曲を聞いてみる。

○ダンシングタイム
やってみる（いろいろな曲で）
・ロックのリズムへののり方の特徴を捉えて，シンプルな動きを繰り返し踊ってみる。
・アップテンポの曲にのって，教師と一緒に自由に踊る。

○動きの確認
・リズムに乗る動きと崩す動きがあることを確認する。
ひろげる（1 曲で）
・リーダーを決めて順番にリードし合いながら踊る。
・リズムへののり方の特徴を生かして，変化をつけながら踊る。

○振り返りをする。
・ペアで本時の学びを語り，共有する。
・これからの見通しを立てる。</td><td>○めあてを確認する。
ロックのリズムにのって踊ろう！
○ややゆっくりのロックの曲を聞いて，アップテンポの曲との速さの違いを捉える。

○ダンシングタイム１
やってみる（いろいろな曲でペアを変えながら）
・ロックのリズムへののり方の特徴を捉えて，シンプルな動きを繰り返し踊ってみる。

○リズムののり方（動き）を確認する。
・曲調が変わっても，スキップなどで弾めることを確認する。

○ダンシングタイム２
ひろげる（１曲で）
・リズムへの乗り方の特徴を生かして，変化をつけながら友達と一緒に自由に踊る。
・動きの宝箱でやりたい動きを確認しながら即興的に踊る。

○よい動きを共有する。
・よいと思ったペアやグループの動きをみんなでやってみる。

○ダンス交流会をする。
・学んだリズムで，リズムダンス交流会をする。
・２グループに分かれて見合い，最後にペアで自由に踊る。

○振り返りをする。
・ペアとロックのリズムの特徴を捉えて踊って感じたこと伝え合う。
・自分の動きの変容について振り返る。</td><td>○めあてを確認する。
サンバのリズムにのって踊ろう！
○サンバの曲を聞いて，ロックとの曲調の違いを捉える。

○ダンシングタイム１
やってみる（いろいろな曲でペアを変えながら）
・サンバのリズムへののり方の特徴を捉えて，シンプルな動きをいくつか踊ってみる。

○リズムののり方（動き）を確認する。
・ロックでやった動きもサンバでできることを確認する。

ダンシングタイム２
ひろげる（１曲で）
・リズムへののり方の特徴を生かして，変化をつけながら友達と一緒に自由に踊る。
・ペアを変えながら，徐々に「ペア→グループ」となるように動きのバリエーションを増やしていく。
・動きの宝箱でやりたい動きを確認しながら即興的に踊る。

○よい動きを共有する。
・よいと思ったペアやグループの動きをみんなでやってみる。

○ダンス交流会をする。
・学んだリズムで，リズムダンス交流会をする。
・２グループに分かれて見合い，最後にペアで自由に踊る。

○振り返りをする。
・ロックとの違いについて振り返る。
・ペアとサンバのリズムの特徴を捉えて踊って感じたことを伝え合う。
・自分の動きの変容について振り返る。</td><td>○めあてを確認する。
サンバのリズムにのって踊ろう！
○サンバの曲を聞いて，ロックとの曲調の違いを捉える。

○ダンシングタイム１
やってみる（いろいろな曲でペアを変えながら）
・サンバのリズムへののり方の特徴を捉えて，シンプルな動きをいくつか踊ってみる。

○リズムののり方（動き）を確認する。
・サンバのリズムののり方を確認する。

ダンシングタイム２
ひろげる（１曲で）
・リズムへののり方の特徴を生かして，変化をつけながら友達と一緒に自由に踊る。
・ペアを変えながら，徐々に「ペア→グループ」となるように動きのバリエーションを増やしていく。
・動きの宝箱でやりたい動きを確認しながら即興的に踊る。

○よい動きを共有する。
・よいと思ったペアやグループの動きをみんなでやってみる。

○ダンス交流会をする。
・学んだリズムで，リズムダンス交流会をする。
・２グループに分かれて見合い，最後にペアで自由に踊る。

○振り返りをする。
・ペアとサンバのリズムの特徴を捉えて踊って感じたことを伝え合う。
・ロックとの違いについて振り返る。
・ペアと関わりながらやってみたり，工夫したりした動きについて。
・自分の動きの変容について振り返る。</td><td colspan="2">○めあてを確認する。
友達と動き方を工夫して，選んだ曲で楽しく踊ろう！
・ペアやグループと踊る方が，動きが工夫できる。
・いろいろな動きをつなぐと楽しくなること。

ダンシングタイム１
やってみる
○ロックとサンバの 4 曲メドレーを教師や友達の真似をして踊る。
・曲調の変化を感じながら踊る。
・ペア→グループ

○リズムののり方（動き）を確認する。
・前時までの動きや，グループでできそうな動きのつなげ方を確認する。

ダンシングタイム２
ひろげる
○グループで選んだ曲を即興的に踊る。
・4 曲のメドレーを，曲調の変化を捉えながら自由に踊る。
・グループで変化をつけたり，変化のある動きを組み合わせたりしながら続けて踊る。
・動きに迷ったら，動きの宝箱を確認しながら動き続けられるようにする。

○よい動きを共有する。
・よいと思ったグループの動きをみんなでやってみる。
・グループでの動き方を工夫しているグループを取り上げて，良さを共有する。

○ダンス交流会をする。
・円形になって，グループで踊りたい曲で自由に踊る。
・見ているグループは，リズムにのったり手拍子をしたりしながら見る。

○振り返りをする
・ペアで踊ったときとの違いや，他のグループの良さ（グループで工夫していた動きのつなげ方）について共有する。
・ダンスの授業を通して，自分の動きの変容について振り返る。</td></tr>
<tr><td>☆見方・考え方を働かせている児童の姿</td><td>☆楽しく運動するためのきまりに着目し，進んできまりを守りながらダンスを楽しむ姿。</td><td colspan="5">☆体のいろいろな部分を使うことによって自分の思いが伝わることに着目し，夢中で全身を使って踊る姿。
☆友達のよい動きを見ることで自分の動きが高まることに着目し，進んで友達のよい動きをまねしようとする姿。
☆ペアやグループでダンスを工夫すると楽しさが膨らむことに着目し，前時までの動きをつなげてダンスを楽しんでいる姿。
☆動きの変化をつけることの面白さに着目し，メリハリをつけたりくずしを入れたりして工夫してダンスを楽しんでいる姿。
☆友達のよい動きを見ることで自分の動きが高まることに着目し，進んで友達のよい動きをまねしようとする姿。</td></tr>
<tr><td>★評価方法</td><td>【主】①③④
観察・学習カード</td><td>【主】①②
観察・発表・学習カード</td><td>【知・技】①
観察・発表・学習カード</td><td>【思・判・表】①
観察・発表・学習カード</td><td>【知・技】②
観察・発表・学習カード</td><td>【思・判・表】①②
観察・発表・学習カード</td></tr>
<tr><td>●運動苦手な児童や意欲的でない児童への支援</td><td>●積極的に表現することが苦手な児童のために，教師の動きをまねさせる。
●みんなで顔を合わせながら心と体をほぐしていく。
●積極的な言葉がけをする。</td><td colspan="5">●手拍子やスキップなどの簡単な動きをしてみるように促す。
●前時に学んだことを集めた，「動きの宝箱」で動きのバリエーションを引き出せるようにする。
●教師や友達のまねをしみるように促す。
●積極的な言葉がけをする。</td></tr>
</table>

８　本時の学習と指導（４／６時）

(1)　ねらい

自分やペア・グループで考えたリズムの乗り方や崩し方を友達に伝えている。（思考・判断・表現）

(2)　準備物

スピーカー，サンバのリズムの曲，ホワイトボード，動きの宝箱（掲示）

(3)　展開

	学習内容・活動	指導上の留意点○指導◆評価
導入	1．WA になって踊ろう！ ・前時までの動きを「動きの宝箱」で確かめ，リーダーを交代しながら即興的に踊る。	○意欲的に取り組めない児童のためにみんなで顔を合わせながら心と体をほぐしていく。 ○スキップなどの簡単な動きを中心に，体幹部（へそ）でリズムに乗るように声掛けする。
展開	2．めあてを確認する。 サンバのリズムにのって，ペアと工夫して踊ろう！	
	・前時のサンバの曲でやったリズムの乗り方を確認する。 ・本時の曲を聞く。	○「動きの宝箱」を見ながら振り返らせる。 ○曲を聞いている間に，体が自然とリズムに乗っている児童を価値づけする。
	3．ダンシングタイム１ やってみる（いろいろな曲で） ・サンバのリズムへののり方の特徴を捉えて，シンプルな動きを教師とくり返し踊ってみる。 ・ペアを変えながら踊る。	○苦手な児童に積極的な声掛けをする。 ○リズムに乗る動きとくずす動きをバランス良く取り入れて踊らせる。 ○１～２分程度の曲を繰り返し踊らせる。 スキップ，ツーステップ，シンコペーションの動き，ピポット・ターン，腰をやわらかく動かす，手をウェーブ，手を太陽のようにギラギラと　　など
	4．リズムののり方（動き）を確認する。 ・踊った動きを伝え合う。	○言葉で説明しにくい動きは，みんなで一緒に動きながら確認する。
	5．ダンシングタイム２ ひろげる（１曲で） ・リズムへののり方の特徴を生かして，変化をつけながら友達と一緒に自由に踊る。 ・ペアを変えながら踊る。 ・グループでも踊ってみる。	○動きの宝箱を参考にしながら，動きをつなげさせる。 ○動きが止まってしまう児童には，スキップやジャンプ，ストップモーションなどでリズムに乗るように声掛けする。 ○児童がリードする場面や，よい動きの児童を真似する場面を作る。
	6．よい動きを共有する。 ・よいと思ったペアやグループの動きをみんなでやってみる	○みんなで一緒に動きながら確認する。
	7．ダンス交流会をする。 ・２グループに分かれて見合い，最後にペアと自由に踊る。	○踊る児童には，自分たちがよいと思った動きを自由に踊ることを伝える。 ○見ている児童には，リズムに乗ったり手拍子をして楽しく見ながら，友達のよいと思った動きを見つけるように声掛けする。
まとめ	8．振り返りをする。 ・ペアでの学びとダンス交流会の学びを共有する。	○ペア同士で工夫した動きや動きのつなげ方を伝え合う。 ○交流会で見ているときに見つけた，友達のよいと思った動きや動きのつなげ方を伝え合う。 ○動きの宝箱に貯まっていくことで，動きのバリエーションが増えてきたことを価値づけする。 ◆自分やペア・グループで考えたリズムの乗り方や崩し方を友達に伝えている。（思考・判断・表現）